



『大学と世界社会』

Universities and World Society

講演会告知

時間：10月12日、14時半より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎 473 教室

題目：『大学と世界社会』(Universities and World Society)

講演言語：英語

講演者：ルドルフ・シュティヒヴェー (Prof. Dr. Rudolf Stichweh)

講演者所属：ボン大学ダーレンドルフ記念講座「現代社会理論」教授、同大学国際科学フォーラム所長、エクセレントクラスター「隷従と自由を超えて」首席研究者、ルツェルン大学元学長・常任客員教授

主催：慶應義塾大学大学院社会学研究科

後援：ドイツ連邦共和国大使館、ドイツ研究振興協会(DFG)、ドイツ学術交流会(DAAD)

協賛：三田社会学会、日本社会学理論学会

連絡先：慶應義塾大学文学部 教授 森川剛光 (morikawa@flet.keio.ac.jp)

ルドルフ・シュティヒヴェー教授は、20世紀後半最高の社会理論家であるニコラス・ルーマンの直弟子であり、ドイツにおけるシステム理論にもとづいた世界社会研究、社会学的大学研究の第一人者であり、ビーレフェルト大学で学部長、ルツェルン大学で学長を務めあげられ、理論と実務の双方から現代の大学制度に精通されています。また、教授は2017年よりドイツ国立アカデミー・レオポルディーナの会員にも選出されており、現代ドイツを代表する社会学者であります。シュティヒヴェー教授に大学と世界社会について講演をして頂くことは、グローバル化に直面し、迷走する日本の大学にとっても、得るものは極めて大きいと思われます。なお、シュティヒヴェー教授の来日は今回が初めてです。

